

令和3年度(令和2年度対象)

教育委員会点検・評価報告書

令和3年9月

新冠町教育委員会

目 次

1 はじめに		2
(1)趣旨		
(2)点検・評価の対象		
(3)点検・評価の方法		
(4)評価		
2 教育委員会の会議の開催状況及び付議案件		3
3 規則及び要綱等の制定		6
4 教育委員会委員の活動状況		7
(1)令和2年度教育委員会活動一覧		
(2)項目別点検		
①教育委員会会議		
②視察・学校訪問		
③各種行事、会議・研修会の参加		
④広報活動		
(3)教育委員会表彰		
5 教育予算概要		9
6 施策・事業評価総括表		10
7 管理課所管の施策・事業の評価調書		13
8 社会教育所管の施策・事業の評価調書		20
関係資料 ・令和2年度 新冠の教育		25

1 はじめに

(1) 趣旨

平成19年6月に「地方教育行政の組織および運営に関する法律」が改正され（平成20年4月1日施行）教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行うことが義務付けられました。

事務の点検・評価は、教育委員会が事務の管理及び執行状況を点検・評価することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民に対し説明を果たすことを目的としています。

(2) 点検・評価の対象

令和2年度教育行政執行方針に掲げられた主な施策等を対象としました。

(3) 点検・評価の方法

主な施策等に対する具体的な取組内容を、推進目標、目標達成に向けた計画、評価の視点、今後の課題と必要な取組にまとめ評価といたしました。評価は内部評価と、外部評価とし、関係機関から意見や助言をいただきました。

①推進目標

令和2年度の教育執行方針に基づき、点検、評価の対象となる主な施策の推進目標を示しております。

②目標達成に向けた計画

目標達成に向けた具体的な計画を示しております。

③評価の視点

目標達成に向け実施した事務事業の内容を示しております。

④今後の課題と必要な取組

施策の課題と今後に必要な取組を示しております。

(4) 評価

次の4点により評価し、記載しております。

- ・ A 計画どおり又は計画以上の成果が得られた
- ・ B 概ね目標は達成できた
- ・ C 課題を残し目標も十分達成できなかった
- ・ D 検討段階で具体の成果はなかった

2 教育委員会の会議の開催状況及び付議案件

開催回数・期日	付 議 案 件 等
第 5 回 令和 2 年 4 月 22 日	(報告) ・一般事務報告について ・令和 2 年度学級編制及び教職員数について ・令和元年度卒業奨学生の進路状況について ・新型コロナウイルス感染症対策の対応について (議案) ・令和 2 年度新冠町奨学生の選定及び奨学金の額の決定について ・新冠町社会教育委員の委嘱について (諮問) ・第 8 次新冠町社会教育中期計画の策定にかかる諮問について
第 6 回 令和 2 年 5 月 27 日	(報告) ・一般事務報告について ・新型コロナウイルス感染症対策の対応について (議案) ・新冠町町外学生等応援給付金給付事業実施規則の制定について ・新冠町立学校職員の在宅勤務実施要領の制定について ・新冠町スポーツ大会選手派遣事業補助金交付基準の一部を改正する訓令について ・新冠町教育賞及び教育奨励賞表彰規則運営基準の一部を改正する訓令について (協議) ・新冠町立小中学校の教育活動の再開について ・新冠町小中学校適正規模・適正配置基本計画について
第 7 回 令和 2 年 6 月 24 日	(報告) ・一般事務報告について ・令和 2 年第 2 回新冠町議会臨時会に関する諸報告について ・令和 2 年第 2 回新冠町議会定例会に関する諸報告について ・令和 2 年度学校閉庁日の設定について (議案) ・新冠町立学校管理規則の一部を改正する規則について ・令和 2 年度特別支援学級に就学を要する生徒について
第 8 回 令和 2 年 7 月 22 日	(報告) ・一般事務報告について
第 9 回 令和 2 年 8 月 26 日	(報告) ・一般事務報告について (議案) ・令和 3 年度に使用する小学校用及び中学校用教科用図書の採択について ・新冠町の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について ・教育職員の業務量の適切な管理等に関する規則の制定について ・新冠町アクション・プランの改訂について ・新冠町立学校の部活動のあり方に関する方針の策定について

開催回数・期日	付 議 案 件 等
第 1 0 回 令和 2 年 9 月 3 0 日	(報告) ・一般事務報告について ・令和 2 年第 3 回新冠町議会臨時会に関する諸報告について ・令和 2 年第 3 回新冠町議会定例会に関する諸報告について ・新冠町の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書について (議案) ・認定こども園ド・レ・ミの災害時の休園基準について ・令和 2 年度特別支援学級に就学を要する児童について
第 1 1 回 令和 2 年 1 0 月 2 1 日	(報告) ・認定こども園及び各学校等の臨時休業について (協議) ・新冠町教育大綱の策定について ・新冠町小中学校適正規模・適正配置基本計画の策定について
第 1 2 回 令和 2 年 1 0 月 2 8 日	(報告) ・一般事務報告について ・令和 3 年度学級編制及び教職員数（見込み）について (議案) ・令和 2 年度新冠町奨学生を選定及び奨学金の額の確定について（追加分） ・新冠町小中学校適正規模・適正配置基本計画の策定について
第 1 3 回 令和 2 年 1 1 月 2 5 日	(報告) ・一般事務報告について ・令和元年度一般会計等決算審査の結果について ・第 8 次新冠町社会教育中期計画について（答申） (議案) ・令和 2 年度新冠町教育賞及び教育奨励賞表彰の被表彰者の決定について
第 1 4 回 令和 2 年 1 2 月 2 3 日	(報告) ・一般事務報告について ・令和 2 年第 4 回新冠町議会定例会に関する諸報告について ・令和 2 年度教育賞及び教育奨励賞表彰の被表彰者等について (議案) ・令和 3 年度特別支援学級に就学を要する児童生徒について ・新冠町町外学生等応援給付金給付事業実施規則の一部を改正する規則について
第 1 回 令和 3 年 1 月 2 7 日	(報告) ・一般事務報告について ・令和 3 年度学級編制及び教職員数（見込み）について ・令和 2 年第 5 回新冠町議会臨時会に関する諸報告について ・令和 3 年 1 月 1 4 日発生の突風に伴うスクールバス待合所の倒壊について ・令和 3 年第 1 回新冠町議会臨時会に関する諸報告について

開催回数・期日	付 議 案 件 等
第 2 回 令和 3 年 2 月 2 4 日	(報告) ・ 一般事務報告について ・ 令和 3 年度教育予算の概要について (議案) ・ 令和 3 年度教育行政執行方針について ・ 新冠町立学校職員ストレスチェック制度実施規程の制定について ・ 令和 2 年度新冠町教育賞表彰の被表彰者の決定について
第 3 回 令和 3 年 3 月 5 日	(議案) ・ 令和 3 年度当初の教職員人事について
第 4 回 令和 3 年 3 月 2 4 日	(報告) ・ 一般事務報告について ・ 令和 3 年第 1 回新冠町議会定例会に関する諸報告について ・ 教育委員会事務局職員の人事内示について ・ 新冠町第 3 次子どもの読書活動推進計画について ・ 令和 3 年度におけるレ・コード館の開館日について (議案) ・ 新冠町教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について ・ 新冠町立学校職員のハラスメント防止等に関する要綱の制定について ・ 修学旅行の引率業務等に従事する新冠町立学校職員の勤務時間の割振り等に関する要領の一部を改正する訓令について ・ 第 8 次新冠町社会教育中期計画について

3 規則及び要綱等の制定

規則の制定	・ 新冠町町外学生等応援給付金給付事業実施規則 ・ 新冠町立学校管理規則の一部を改正する規則 ・ 教育職員の業務量の適切な管理等に関する規則 ・ 新冠町町外学生等応援給付金給付事業実施規則の一部を改正する規則 ・ 新冠町教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則
要綱等の制定	・ 新冠町立学校職員の在宅勤務実施要領 ・ 新冠町スポーツ大会選手派遣事業補助金交付基準の一部を改正する訓令 ・ 新冠町教育賞及び教育奨励賞表彰規則運営基準の一部を改正する訓令 ・ 新冠町立学校職員ストレスチェック制度実施規程 ・ 新冠町立学校職員のハラスメント防止等に関する要綱 ・ 修学旅行の引率業務等に従事する新冠町立学校職員の勤務時間の割振り等に関する要領の一部を改正する訓令

4 教育委員会委員の活動状況

(1) 令和2年度教育委員の活動の状況 ※教育長を除く

期 日	活 動 内 容	委 員 名
4月 3日(金)	教職員辞令交付式	全委員
4月 8日(水)	新冠小学校、朝日小学校、新冠中学校入学式)	—
4月22日(水)	第5回教育委員会	全委員
4月24日(金)	日高管内教育委員会連絡協議会総会及び合同会議（書面会議）	小林委員
5月27日(水)	第6回教育委員会	全委員
6月12日(金)	第1回総合教育会議	全委員
6月24日(水)	第7回教育委員会	全委員
7月16日(木)	北海道市町村教育委員研修会（中止）	—
7月22日(水)	第8回教育委員会	下山、鈴木、佐々木委員
8月26日(水)	第9回教育委員会	下山、鈴木、佐々木委員
8月27日(木)	教育委員学校訪問 各小中学校、認定こども園	下山、鈴木委員
9月12日(土)	新冠小学校運動会	—
9月16日(水)	新冠中学校体育公開日	—
9月20日(日)	認定こども園ド・レ・ミ 運動会	—
9月30日(水)	第10回教育委員会	全委員
10月 3日(土)	朝日小学校運動会	—
10月21日(水)	第11回教育委員会	全委員
10月28日(水)	第12回教育委員会	全委員
10月28日(水)	第2回総合教育会議	全委員
11月 3日(火)	新冠町功労賞贈呈式	全委員
11月14日(土)	朝日小学校学芸会	—
11月19日(木)	新冠中学校学校祭	—
11月25日(水)	第13回教育委員会	小林、下山、鈴木委員
11月25日(水)	新冠小学校学習発表会（～27日（金）までの3日間）	—
12月17日(木)	森みつ少年少女文芸賞2次審査	鈴木委員
12月23日(水)	農水新冠賞審査	全委員
12月23日(水)	第14回教育委員会	全委員
1月10日(日)	教育賞・教育奨励賞・成人式	全委員
1月27日(水)	第1回教育委員会	全委員
2月10日(水)	教育委員学校訪問 各小中学校、認定こども園	下山、鈴木、佐々木委員
2月13日(土)	認定こども園ド・レ・ミ お遊戯会	—
2月24日(水)	第2回教育委員会	下山、鈴木、佐々木委員
3月 5日(金)	第3回教育委員会	全委員
3月12日(金)	新冠中学校卒業式	—
3月23日(火)	新冠小学校、朝日小学校卒業式	—
3月24日(水)	第4回教育委員会	全委員

(2) 項目別点検

①教育委員会による点検

教育委員会会議については、原則毎月1回として開催する定例会と、必要に応じて開催する臨時会があり、保育・教育に関する様々な案件について検討し議決しております。

②視察・学校訪問

新冠町教育委員会では、年間2回の学校訪問を行い、学校経営について、また、経営の進捗状況について、普段の児童生徒の学習の様子を視察するとともに、学校、認定こども園の設備等の状況について視察訪問しております。

③各種学校行事、会議、研修会等への参加

町内の小中学校、認定こども園の各種行事については、新型コロナウイルス感染症対策として、出席者を限定し開催されましたことから、各委員、教育長の参加を控えております。

また、各種会議・研修会は、書面会議及び中止となりましたが、定例会終了後に懇談を持ち、委員の資質向上に向けた取り組みを実施しております。

④広報活動

平成26年度より「まなびや」を発行し、学校教育に係る諸事業を広報するとともに、全国学力学習状況調査の結果、体力運動能力調査結果については町広報に掲載し、広く町民へ周知しております。

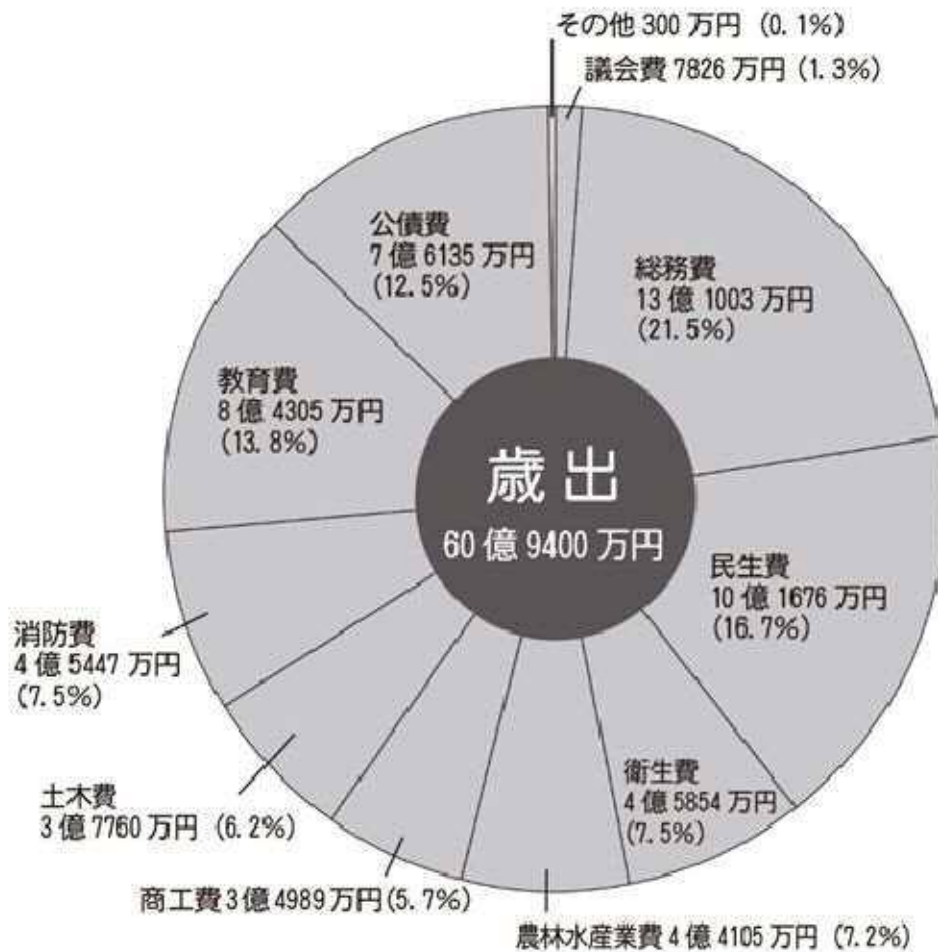
(3) 教育委員会表彰の実施

新冠町の教育・文化、スポーツ活動の振興発展に尽力し、その功績顕著な個人または、団体を表彰し、本町教育の振興発展を図る目的により、その栄誉を讃えております。

【令和2年度の受賞者】

・新冠町教育賞	教 育 賞	1 名
	芸術文化賞	1 名
	スポーツ賞	1 名
・教育奨励賞	芸術文化奨励賞	5 名
	スポーツ奨励賞	5 名

5 教育委員会予算状況



○予算（歳出）概要

(単位 千円)

款	項	金 額
3 民 生 費	2 児童福祉施設費	
	(支援センター・児童館費分)	26,316
9 教 育 費		843,048
	1 教育総務費	197,743
	2 小学校費	69,143
	3 中学校費	41,793
	4 認定こども園費	231,267
	5 社会教育費	198,423
	6 保健体育費	47,465
	7 学校給食費	57,214
教育関係予算計		869,364

6 施策・事業評価総括表

令和2年度管理課所管の施策・事業の評価一覧

A 評価どおり又は計画以上の成果が得られた B 概ね目標は達成できた C 課題を残し目標も十分達成できなかった D 検討段階で具体の成果はなかった

取組むべき主な施策		推 進 目 標	ページ	内部評価	外部評価
1	確かな学力の向上	1 ○接続・一貫を意識した教育課程の推進 ○アクティブ・ラーニングを意識した学習・指導方法の改善 ○教育活動の「質」の向上 ○年間を通じた学力向上策の推進	13	B	B
2	豊かな心と健やかな体の育成	1 ○道徳教育の推進 ○生徒指導と教育相談の充実 ○生活習慣の定着 ○健康安全教育の充実	13	B	B
		2 ○読書活動の推進 ○体力向上策の推進	14	B	B
3	特色ある教育活動の推進	1 ○学校の教育活動を中心とした主権者教育 ○新聞を活用した教育活動の推進 ○発達段階に応じたキャリア教育の推進	14	B	B
		2 ○学校間における合同学習・交流事業の推進 ○地域資源と社会教育事業を活用した教育活動の推進 ○郷土資料館と連携したふるさと教育の推進	15	B	B
4	特別支援教育の充実	1 ○個別の指導計画・教育支援計画に基づく切れ目のない支援体制の確立 ○障がい種に応じた適切な教育課程の編成・実施 ○関係機関との情報共有による早期教育相談と支援の推進 ○就学・進学時の学校間引継ぎの円滑化と指導・支援体制の充実 ○指導・支援の充実を図る教職員研修の充実	15	A	A

取組むべき主な施策		推 進 目 標	ページ	内部評価	外部評価
5	信頼される学校づくりの推進	1 ○校長を中心とした校内組織の機能強化 ○教職員の資質向上と服務規律の保持 ○新任教職員の育成研修の推進	16	A	A
		2 ○義務教育課程適正規模・適正配置等基本計画の策定 ○学校運営協議会の活用 ○小中一貫教育の推進	16	A	A
6	教育環境の整備	1 ○朝日小学校の教育体制の確保 ○学習環境の整備・充実 ○教職員の働き方改革への対応	17	B	B
		2 ○奨学金制度の拡充 ○義務教育施設の長寿命化計画の策定 ○高等学校への通学支援の推進	17	B	A
7	認定こども園の教育・保育の推進	1 ○接続を意識した幼児教育の充実 ○児童館事業との連携	18	A	A
		2 ○保育教諭研修の充実	18	B	B
		3 ○適切な保育教諭の配置と保育環境の整備	19	A	A
		4 ○子育て支援事業の充実	19	A	A

令和2年度社会教育課所管の施策・事業の評価一覧

A 評価どおり又は計画以上の成果が得られた B 概ね目標は達成できた C 課題を残し目標も十分達成できなかった D 検討段階で具体の成果はなかった

取組むべき主な施策	推 進 目 標	ページ	内部評価	外部評価
1 レ・コード館を中心とした社会教育の推進	1 ○第8次新冠町社会教育中期計画の策定	20	A	A
	2 ○文化協会や関連団体との連携による文化芸術活動の支援 ○音楽を活用した社会教育事業の推進 ○収集レコードの活用と関係機関と連携した館運営の推進	20	B	A
	3 ○社会教育施設の長寿命化計画の策定	21	B	B
	4 ○小中学校の教育活動への積極的な係わり	21	B	B
2 社会体育の充実	1 ○スポーツ協会と連携したスポーツ振興と団体支援 ○スポーツ推進委員と連携した軽スポーツの普及活動 ○健康を視点とした運動教室 ○子どもの体力向上に資する取り組み強化	22	A	A
3 郷土資料館事業の充実	1 ○学校との連携による学習機会の提供 ○新冠百話を活用したふるさと教育の推進 ○アイヌ文化学習会の開催 ○郷土文化研究会や関係者と連携した館運営の推進	22	A	A
4 図書プラザ事業の充実	1 ○利用者ニーズの把握と利便性を重視した運営 ○アニマル号の運行形態と利用拡大への工夫	23	B	B
	2 ○子どもの読書習慣定着に向けた取組 ○学校図書室との連携	23	A	A
5 青少年教育の充実	1 ○ふるさとを感じる体験型事業の推進 ○児童館機能を活用したクラブ・教室事業の充実 ○青年団体への支援を通じた組織強化と事業継続	24	B	B
6 成人教育の充実	1 ○ライフステージに応じた学習機会の充実 ○学校と連携した家庭教育事業への支援 ○保健福祉と連携した高齢者、女性への学習機会の創設	24	B	B

7 管理課所管の施策・事業評価調書

(1) 確かな学力の向上

推 進 目 標	○接続・一貫を意識した教育課程の推進 ○アクティブ・ラーニングを意識した学習・指導方法の改善 ○教育活動の「質」の向上 ○年間を通じた学力向上策の推進		
目 標 達 成 に 向 け た 計 画	・ 目指す資質能力の明確化・外国語授業の円滑化・A L T の活用 ・ 単元を見通す指導計画・授業のタイムマネジメント・プログラミング教育の推進・I C T機器の積極活用 ・ カリキュラムマネジメントによる検証と授業改善 ・ 家庭学習の習慣化・指導主事訪問と授業参観の強化・学習規律の徹底		
評 価 の 視 点	・ 外国語の円滑な実施と乗り入れ授業の充実 ・ カリキュラムマネジメントの実践に基づく、アクティブ・ラーニングを意識した授業改善及び研修の推進 ・ I C T機器を活用した、分かる授業づくりと研究 ・ 学習規律、家庭学習手引きの配布及び家庭と連携した工夫と活用		
今 後 の 課 題 と 必 要 な 取 組 み	・ カリキュラムマネジメントに基づく授業改善 ・ I C T機器を活用した、分かる授業づくりの実践 ・ コミュニティ・スクール推進による学校、保護者、地域、社会教育と連携した家庭教育力を向上させる取組の継続 ・ 指導主事訪問を通じた指導助言活動の継続		
内 部 評 価	B	外部評価	B
内部評価の内容	・ 新型コロナウイルス感染症対策により、教育活動への工夫が求められたが、目的を意識した研修活動を実施するなど、「質」の向上を推進するとともに、家庭と連携した家庭学習及び生活習慣の定着化を図った。一方で、計画の前倒しにより、1人1台P CなどI C T機器の充実が図られたが、効果的な活用への取組が必要である。		
外部評価の内容	・ 新型コロナウイルス感染症対策により、教育活動への工夫が求められたが、I C T機器を先進的に導入するなど、積極的な教育活動が進められ概ね目標は達成されている。		

(2) 豊かな心と健やかな体の育成

推 進 目 標①	○道徳教育の推進 ○生徒指導と教育相談の充実 ○生活習慣の定着 ○健康安全教育の充実		
目 標 達 成 に 向 け た 計 画	・ 考え議論する授業の実践、評価の工夫、外部人材の活用、校内研修の推進 ・ いじめ、不登校解消に向けた組織的対応、ネットモラルの指導、相談体制の強化 ・ 家庭との連携、社会教育事業との連携 ・ 食育指導の工夫、危機管理体制と事故防止策強化、地域と連携した防災教育の推進		
評 価 の 視 点	・ 道徳授業の定着化と研修の推進 ・ 校内における相談体制の充実及び町部局と連携したケース会議による、問題行動不登校の対応と取組の実践及び、保護者を含めたネットモラル教育の継続実施 ・ 生活習慣の定着への取組 ・ 給食内容や地場産品の活用による、ふるさと教育の充実 ・ 危機管理体制の徹底と実践		
今 後 の 課 題 と 必 要 な 取 組 み	・ 考え議論する授業の意識化と充実 ・ いじめ防止への保護者、地域への積極的情報発信及び不登校児童生徒への組織的対応の強化、及びネットモラル教育の継続実施 ・ 社会教育事業等と連携した生活習慣確立への取組 ・ 教育課程における食育を意識した取組 ・ 危機管理体制の充実		
内 部 評 価	B	外部評価	B
内部評価の内容	・ いじめアンケートを活用し早期対応やネットモラルの継続的指導を実施するとともに、不登校に係わる各学校全職員での組織的対応と関係機関と連携した取組により不登校の改善に繋がった。また、感染症への適切な対応など危機管理の徹底を図った。一方、食育においては教育課程を意識した系統的な取組が必要である。		
外部評価の内容	・ 評価の視点・内部評価に記載のとおり概ね目標は達成されている。		

推 進 目 標②	○読書活動の推進 ○体力向上策の推進		
目 標 達 成 に 向 け た 計 画	・校内一斉朝読書の推進 ・学校図書館の活用 ・図書プラザの活用 ・体力運動能力調査分析と対策検討 ・目的共有による一校一実践		
評 価 の 視 点	・朝読書や読み聞かせを活用した読書活動の定着 ・図書プラザとの連携による学校図書館の充実 ・体力運動能力調査の結果分析に基づく体力向上プランの策定 ・「縄跳び」の幼小中での取組み		
今 後 の 課 題 と 必 要 な 取 組 み	・読書の定着化に向けた校内一斉朝読書や読み聞かせの継続的实施 ・体力向上プランによる１校１実践の取組みの継続的实施 ・「縄跳び」の幼小中での継続的实施		
内 部 評 価	B	外部評価	B
内部評価の内容	・読み聞かせサークルや図書プラザとの連携や朝読書などの活動を通じ読書習慣の定着を図った。また、町全体の体力向上策として継続的に「縄跳び」と、各校の状況に応じた１校１実践を推進しているが、体力運動能力調査の結果分析を活かした授業改善が必要である。		
外部評価の内容	・評価の視点・内部評価に記載のとおり概ね目標は達成されている。		

(3)特色ある教育活動の推進

推 進 目 標 ①	○学校の教育活動を中心とした主権者教育 ○新聞を活用した教育活動の推進 ○発達段階に応じたキャリア教育の推進		
目 標 達 成 に 向 け た 計 画	・町長との町づくり懇談会、模擬投票の実施 ・中学生を対象とした活用実践 ・職場体験・地域の人材活用		
評 価 の 視 点	・町づくりについて、生徒からの質問や提案に答える懇談会の実施 ・地域の人材・資源を活用し、ふるさと教育を意識したキャリア教育の実践とキャリアノートの活用による教育の充実		
今 後 の 課 題 と 必 要 な 取 組 み	・行政機関と連携した継続的な主権者教育の実施 ・キャリアノート活用による小中の連続した教育の推進 ・関係機関との連携による地域の人材・資源を活用したキャリア教育の充実		
内 部 評 価	B	外部評価	B
内部評価の内容	・新型コロナウイルス感染症対策により、職場体験や産業体験等の実践活動ができなかったが、キャリアノートを活用することで教育活動を推進した。また、町長とのまちづくり懇談会の実施により、事前準備も含め生徒が高い意識を持つことで主権者意識の向上が図られた。一方で、模擬投票実施への取組が必要である。		
外部評価の内容	・評価の視点・内部評価に記載のとおり概ね目標は達成されている。		

推 進 目 標 ②	○学校間における合同学習・交流事業の推進 ○地域資源と社会教育事業を活用した教育活動の推進 ○郷土資料館と連携したふるさと教育の推進		
目 標 達 成 に 向 け た 計 画	・乗り入れ授業、事業交流 ・学校運営協議会の定着化、外部人材活用 ・新冠百話の活用とアイヌ文化学習		
評 価 の 視 点	・乗り入れ授業や事業交流への意識の醸成 ・コミュニティ・スクール推進による学校、保護者、地域、社会教育と連携した家庭教育力の向上 ・ふるさと給食や郷土資料機能を活用したふるさと教育の実施		
今 後 の 課 題 と 必 要 な 取 組 み	・幼小中の接続と連携を意識した教育活動の強化 ・郷土資料館など社会教育機能を活用した継続的な取組		
内 部 評 価	B	外部評価	B
内部評価の内容	・新型コロナウイルス感染症対策により、学校間交流等の制限がある中で、DVDなど映像を通じた授業や交流活動を実践したが、取組み状況を授業改善に活かす必要がある。また、郷土資料館など社会教育との連携により、ふるさと絵本や新冠百話、アイヌ学習などふるさとの特色を持った教育活動の充実が図られた。		
外部評価の内容	・評価の視点・内部評価に記載のとおり概ね目標は達成されている。		

(4) 特別支援教育の充実

推 進 目 標	○個別の指導計画・教育支援計画に基づく切れ目のない支援体制の確立 ○障がい種に応じた適切な教育課程の編成・実施 ○関係機関との情報共有による早期教育相談と支援の推進 ○就学・進学時の学校間引継ぎの円滑化と指導・支援体制の充実 ○指導・支援の充実を図る教職員研修の充実		
目 標 達 成 に 向 け た 計 画	・個別の指導計画、支援計画の共有化 ・関係機関との連携強化 ・校内研修の充実		
評 価 の 視 点	・定期的な校内研修の実施及び校内体制の充実 ・新冠町発達支援センター等関係機関との情報交流体制の充実 ・新冠町特別支援教育推進委員会による支援の充実		
今 後 の 課 題 と 必 要 な 取 組 み	・新冠町特別支援教育推進委員会を通した幼小中の連携による一貫した教育的支援の継続		
内 部 評 価	A	外部評価	A
内部評価の内容	・定期的に校内支援委員会実施することで、児童生徒の状況の全体での共通理解により教育課程の充実が図られた。また、新冠町発達支援センター等との情報交流体制の確立により、保護者の理解や不安の解消に向けた組織的な取組みが図られた。		
外部評価の内容	・評価の視点・内部評価に記載のとおり目標達成に向けた計画が達成されている。		

(5)信頼される学校づくりの推進

推 進 目 標 ①	○校長を中心とした校内組織の機能強化 ○教職員の資質向上と服務規律の保持 ○新任教職員の育成研修の推進		
目 標 達 成 に 向 け た 計 画	・経営ビジョンと具現化方策の明確化、検証サイクルによる学校改善 ・校務組織の機能強化、教職員の経営参画意識の高揚 ・各種研修参加の奨励、公開研究会の奨励、研究指定校活用 ・指導主事の授業参観による指導助言の強化		
評 価 の 視 点	・各学校の学校経営に係るヒアリングの実施 ・職員会議での定期的な法令遵守と服務規律の徹底 ・外国語教育推進委員会や学校の主体的な調査研究への支援 ・指導主事及びミドルリーダーを活用した職員の育成		
今 後 の 課 題 と 必 要 な 取 組 み	・校長を中心とした組織の活性化への取組の継続 ・研究指定校制度の有効的な活用 ・法令遵守、服務規律の保持の継続的な取組 ・指導主事の専門性を活かした指導助言活動の推進		
内 部 評 価	A	外部評価	A
内部評価の内容	・校長の経営ビジョンの明確化により、組織的な改善が図られている。 また、定期的に法令遵守と服務規律を呼び掛けることで意識の徹底に努めるとともに、研究授業の公開や自主的な研修を積極的に実施し、全体の資質向上を推進した。		
外部評価の内容	・校長の経営ビジョンが浸透しており、全体の資質向上が図られている。		

推 進 目 標 ②	○義務教育課程適正規模・適正配置等基本計画の策定 ○学校運営協議会の活用 ○小中一貫教育の推進		
目 標 達 成 に 向 け た 計 画	・学校、地域の課題やビジョンの共有・協同体制の確立 ・経営ビジョンの共有と連携・合同研修会や研修・教研協との連携 ・積極的な校種間交流		
評 価 の 視 点	・義務教育課程適正規模・適正配置等基本計画の策定・公表 ・学校運営への参画と、支援・協力の促進 ・幼小中連携推進委員会、I C T教育、外国語等、新学習指導要領の対応と接続を意識した各種委員会の推進		
今 後 の 課 題 と 必 要 な 取 組 み	・新冠町義務教育課程 適正規模・適正配置等基本計画の推進 ・学校運営協議会及びコミュニティ・スクール推進委員会と連携した学校課題への対応 ・継続した義務教育、小中一貫の研究		
内 部 評 価	A	外部評価	A
内部評価の内容	・新冠町小中学校適正規模・適正配置等基本計画を策定し住民説明会を実施した。また、学校運営協議会及びコミュニティ・スクール推進委員会と連携し、新型コロナウイルス感染症への対応を推進するとともに、リモートにより各種委員会を開催するなど、接続や連携を意識した運営が図られた。		
外部評価の内容	・学校運営協議会及びコミュニティ・スクール推進委員会が定着し、地域とともにある学校づくりへの意識向上が図られている。		

(6)教育環境の整備

推 進 目 標 ①	○朝日小学校の教育体制の確保 ○学習環境の整備・充実 ○教職員の働き方改革への対応		
目 標 達 成 に 向 け た 計 画	・複式一部解消に向けた町費負担教員の配置2名・複式化への配慮 ・施設老朽化対策・I C T機器の整備 ・具体的対策の検討と実践・校務支援システム導入の具体化		
評 価 の 視 点	・朝日小学校に2名の町費負担教諭配置による教育環境の充実 ・児童生徒1人1台P Cの整備及びI C T機器整備の充実 ・新冠町アクションプラン及び学校へのタイムカード導入による業務改善の意識化		
今 後 の 課 題 と 必 要 な 取 組 み	・授業や学級運営への影響に対応した町費負担教諭の継続的配置 ・P CをはじめI C T機器の充実による、授業での活用及び研究 ・実行性のある働き方改革の取組の研究		
内 部 評 価	B	外部評価	B
内部評価の内容	・町負担教諭等の配置により教育活動の充実が図られた。また、国のギガスクール構想の前倒しにより、課題であったP C等I C T機器の整備が図られた。一方、働き方改革は、タイムカードでの勤務実態把握により働き方への意識付けに努めたが、更なる改善への取組が必要である。		
外部評価の内容	・学校事情に対応した町費による教職員等の配置及びP C等I C T機器を先進的導入するなど教育環境の改善に努めており、概ね目標は達成されている。		

推 進 目 標 ②	○奨学金制度の拡充 ○義務教育施設の長寿命化計画の策定 ○高等学校への通学支援の推進		
目 標 達 成 に 向 け た 計 画	・貸付上限月額増額の増額・帰町奨学生への優遇拡大等 ・施設改修計画 ・助成対象の拡充・農業高校通学バス運行にかかる経費負担の軽減		
評 価 の 視 点	・奨学金制度の周知徹底による修学機会の提供 ・新冠町義務教育課程適正規模・適正配置等基本計画と連携した施設改修計画の策定 ・節婦、大狩部地区から新ひだか町の高等学校へ通学する高校生に対する通学支援		
今 後 の 課 題 と 必 要 な 取 組 み	・高等学校及び中学校と連携した奨学金制度の理解推進 ・教育施設全体の長寿命計画（個別）の策定 ・継続した、通学支援の取組及び検証		
内 部 評 価	B	外部評価	A
内部評価の内容	・計画どおり奨学金及び高等学校への通学支援を実施した。一方、義務教育施設の長寿命化計画への取組は、個別計画の策定を進めており、引き続き、具現化に向け教育施設全体計画の策定に取り組む必要がある。		
外部評価の内容	・評価の視点・内部評価に記載のとおり目標達成に向けた計画が達成されている。また、施設改修計画は他の計画と関連するものであり、新冠町小中学校適正規模・適正配置等基本計画が策定されている。		

(7) 認定こども園ド・レ・ミの幼児教育・保育の推進

推 進 目 標 ①	○接続を意識した幼児教育の充実 ○児童館事業との連携		
目 標 達 成 に 向 け た 計 画	・スタートカリキュラムの編成と実施 ・小学校との連携 ・要支援児童の把握と早期対応 ・職員間交流と専門知識の提供、事業連携		
評 価 の 視 点	・小学校への接続を見据えた年間指導計画の作成・整備 ・小学校接続を見据えた、英語、体力づくり、音楽事業等への取り組み ・各小学校との連携事業への参加 ・支援が必要な家庭に係る関係機関との情報の共有と連携及び、北海道の事業を活用した、園児に対する指導方法の確認 ・児童館への職員派遣の実施		
今 後 の 課 題 と 必 要 な 取 組 み	・小学校の接続を意識した具体的な育成目標の設定 ・幼小中連携推進委員会を活用した継続的な連携の推進 ・関係機関との連携を図った継続的な支援の推進 ・児童館への職員派遣による幼小及び社会教育との継続的な連携		
内部評価	A	外部評価	A
内部評価の内容	・新型コロナウイルス感染症対策により、小学校との連携・交流等が制限されたが、児童館への職員派遣や関係機関と連携し、認定こども園の卒園者に係る情報提供や学校生活等、必要な情報交換を重ね、小学校への接続を見据えた、集団行動の大切さや友達との関係づくり等の指導及び、英語をはじめ学習カリキュラムの実践を推進した。		
外部評価の内容	・評価の視点・内部評価に記載のとおり目標達成に向けた計画が達成されているが、コロナ禍においても実施可能な学習カリキュラムの更なる工夫を望む。		

推 進 目 標 ②	○保育教諭研修の充実		
目 標 達 成 に 向 け た 計 画	・計画的な職員派遣 ・園内外研修 ・関係機関との連携		
評 価 の 視 点	・幼児教育に係る概論、教育・保育実技の指導に関する研修への参加及び、教育保育に係る課題や問題を設定した園内研修の実施 ・幼小中連携推進委員会やコミュニティ・スクール推進委員会等、幼小中一貫した関係機関との研修の実施		
今 後 の 課 題 と 必 要 な 取 組 み	・継続的な研修機会の確保と充実		
内部評価	B	外部評価	B
内部評価の内容	・新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた研修活動が行えなかったが、園内学習会を開催し職員個々の指導力の向上に努めた。		
外部評価の内容	・評価の視点・内部評価に記載のとおり概ね目標は達成されている。		

推 進 目 標 ③	○適切な保育教諭の配置と教育保育環境の整備		
目 標 達 成 に 向 け た 計 画	・入園希望者増加への対応 ・施設環境の整備		
評 価 の 視 点	・入園児増加への対応と待機児童解消に向けた施設運営の工夫 ・危機管理体制の整備 ・園内外施設点検、遊具点検の計画的実施		
今 後 の 課 題 と 必 要 な 取 組 み	・入園児の状況に対応した利用教室、保育教諭配置の工夫 ・施設の安全点検と危機管理意識の徹底		
内部評価	A	外部評価	A
内部評価の内容	・職員の加配により十分な教育・保育体制を確保することができた。 また、気象警報等による災害休園基準を策定するとともに、定期的な避難訓練・日々の施設内外点検の実施に加え、新型コロナウイルス感染症対策の徹底など、危機管理体制への取組が図られた。		
外部評価の内容	・評価の視点・内部評価に記載のとおり目標達成に向けた計画が達成されている。		

推 進 目 標 ④	○子育て支援事業の充実		
目 標 達 成 に 向 け た 計 画	・相談機能の充実 ・保健福祉部局や学校、発達支援センターとの連携		
評 価 の 視 点	・利用、相談しやすい子育て支援センター環境の充実 ・育児不安等に的確に対応できる職員体制の充実 ・子育て相談機能と保育・教育相互の緊密な連携		
今 後 の 課 題 と 必 要 な 取 組 み	・子育て家庭の育児不安解消を図る関係機関との連携・協力体制づくりの継続		
内部評価	A	外部評価	A
内部評価の内容	・保健福祉部局と連携し、育児相談等、子育て支援センター機能の情報の提供を図るとともに、親子参加型事業を実施する事で、子育て支援センターの施設利用及び相談事業へ繋がった。また、新型コロナウイルス感染症対策として、休園期間を設けたが、一時預かりの受入れや電話相談など、子育て支援の充実に向けた対応が図られた。		
外部評価の内容	・評価の視点・内部評価に記載のとおり目標達成に向けた計画が達成されている。		

8 社会教育課所管の施策・事業評価調書

(1)レ・コード館を中心とした社会教育の推進

推 進 目 標 ①	○第8次新冠町社会教育中期計画の策定		
目 標 達 成 に 向 け た 計 画	・ 中期計画策定事務局担当者会議 ・ 中期計画策定委員会へ諮問 ・ 中期計画策定委員会において5部門の専門部会を構成 ・ 中期計画策定委員会から答申受理・計画決定		
評 価 の 視 点	・ 中期策定委員会の開催 ・ 第7次社会教育中期計画の検証 ・ 第8次社会教育中期計画策定		
今 後 の 課 題 と 必 要 な 取 組 み	・ 第8次新冠町社会教育中期計画を常に意識した事業の展開		
内 部 評 価	A	外部評価	A
内部評価の内容	・ 新冠町総合計画にも示されている『REの精神』を基本目標に掲げ新冠町のまちづくりの理念を有する計画が策定された。		
外部評価の内容	・ 評価の視点、内部評価に記載のとおり目標達成に向けた計画が達成されている。		

推 進 目 標 ②	○文化協会や関係団体との連携による文化・芸術活動の支援 ○音楽を活用した社会教育事業の推進 ○収集レコードの活用と関係機関と連携した館運営の推進		
目 標 達 成 に 向 け た 計 画	・ 社会教育団体に対する補助金の交付（文化協会、レ・コード館自主企画委員会、レ・コード館ジュニアジャズバンド） ・ 音楽体験・交流事業（楽器体験講座、昭和音楽大学との連携） ・ レコードコンサートの開催（例月、出張）等		
評 価 の 視 点	・ 支援を通じた各団体の活動の継続 ・ 団体の成果発表機会の提供・町民へのコンサート事業の提供 ・ 音楽体験・交流事業及びレコードコンサートの実施とレコードジャケットの企画展示		
今 後 の 課 題 と 必 要 な 取 組 み	・ 関係団体への支援継続 ・ 新冠町の文化活動の中心施設としてレ・コード館の更なる有効活用 ・ 昭和音楽大学との交流事業の工夫・充実 ・ 魅力ある館運営（収蔵レコードを「魅せる・聞かせる」ことの工夫・充実）		
内 部 評 価	B	外部評価	A
内部評価の内容	・ 町民文化祭等、自主企画委員会によるコンサート事業はコロナ禍により中止。 ・ ジュニアジャズバンドは公式ユーチューブチャンネルを開設し、多重録音企画や独自の配信コンサートを開催したほか、リモートでのクリニックの実施等、コロナ禍でも発表機会の確保や、技術向上に向けた環境が提供できた。 ・ パートナーシップコンサート、アウトリーチコンサートはコロナ禍により中止 ・ 新冠中学校吹奏楽部へのクリニックはリモートにより実施することができ、生徒の演奏意欲、技術向上に繋がられた。 ・ レコードコンサートは人数制限を設け、8回実施。 ・ レコードジャケットはレ・コード館で2回開催、センチュリーロイヤルホテルでも開催し、『見せる』から『魅せる』を意識し、実施している。		
外部評価の内容	・ コロナ禍により実施できない事業があったものの、リモートによる実施など工夫が見られ、成果に繋がっている。		

推 進 目 標 ③	○社会教育施設の長寿命化計画の策定		
目 標 達 成 に 向 け た 計 画	・施設ごとの長寿命化に向けた改修計画等の作成等		
評 価 の 視 点	・計画書作成の継続		
今 後 の 課 題 と 必 要 な 取 組 み	・義務教育施設も含めた社会教育施設の長寿命化計画（個別）の完成 ・町長部局の長寿命化計画の策定に合せ完成を目指す		
内 部 評 価	B	外部評価	B
内部評価の内容	・施設内の設備を含めた改修を前提とした個々施設の長寿命化計画は概ね完成の目途を立てたが、施設全体を総合判断した計画の完成には至らなかった。		
外部評価の内容	・計画完成に向け、策定作業は進められている。		

推 進 目 標 ④	○小中学校の教育活動への積極的な係わり		
目 標 達 成 に 向 け た 計 画	・社会教育事業の情報提供及び事業連携		
評 価 の 視 点	・学校が求める社会教育事業の提供（地域資源の活用）		
今 後 の 課 題 と 必 要 な 取 組 み	・学校と地域がより一層の連携強化を図るため社会教育がパイプ役を担う		
内 部 評 価	B	外部評価	B
内部評価の内容	・人材バンクや社会教育の人脈を活かした講師の紹介等の情報提供を行なったが、コロナ禍のため講師を招聘した事業の開催には至らなかった。		
外部評価の内容	・各学校との情報共有はできており、事業実施の環境は整っている。		

(2) 社会体育の充実

推 進 目 標	○スポーツ協会と連携したスポーツ振興と団体支援 ○スポーツ推進委員と連携した軽スポーツの普及活動 ○健康を視点とした運動教室 ○子どもの体力向上に資する取り組み強化		
目 標 達 成 に 向 け た 計 画	・指導体制の充実及び競技スポーツ力の向上への支援 ・スポーツ推進委員によるウォーキング教室の開催 ・親子運動、トレーニング、さわやか運動教室等の健康スポーツの開催 ・乗馬・サッカー・野球・武道等の子どもを対象とした教室の開催		
評 価 の 視 点	・社会体育団体に対する補助、スポーツ協会に対する運営面の支援、スポーツ大会出場に係る助成、指導者の資質向上のための研修機会の提供 ・ニュースポーツの紹介や指導・普及を図り、スポーツに親しむ機会を提供 ・社会体育団体等の連携協力による教室の開催、町民の体力維持向上や健康増進を図る機会を提供		
今 後 の 課 題 と 必 要 な 取 組 み	・社会体育団体活動の継続的な支援とスポーツ活動の充実 ・スポーツ推進委員による町民への主体的なスポーツ普及の取組 ・多様な主体との連携による健康を視点とした教室の充実 ・コミュニティスクール活動と連携した子どもの体力向上の取組		
内 部 評 価	A	外部評価	A
内部評価の内容	・社会体育関係団体会員に対する支援 会員数は減となったが、社会体育関係団体と連携したスポーツ振興事業やスポーツ環境の提供等が図られた。 (目標 4 0 0 名 実績 3 6 8 名) ・計画に基づいたスポーツ教室の開催 コロナ禍により中止とした教室もあったが、各世代においてスポーツに親しむ機会を創出し、運動習慣形成や体力向上、健康増進に効果的な内容を実施することができた。 (リモートによる運動教室や、自宅でできる運動の動画配信等工夫を図り行った。(目標 教室数 2 0 種目 参加定員 5 4 8 名) (実績 教室数 1 3 種目 参加者 2 2 5 名)		
外部評価の内容	・コロナ禍により一部の事業は中止があったものの、感染対策に努め工夫された事業展開が図られている。		

(3) 郷土資料館事業の充実

推 進 目 標	○学校との連携による学習機会の提供 ○新冠百話を活用したふるさと教育の推進 ○アイヌ文化学習会の開催 ○郷土文化研究会や関係者と連携した館運営の推進		
目 標 達 成 に 向 け た 計 画	・学校の要請に応じた学習指導の実践 ・「新冠百話」を活用したふるさとの提供 ・郷土資料館及びレ・コード館での開催		
評 価 の 視 点	・郷土の歴史や自然・文化をテーマとした学習やアイヌ文化体験トンボ玉づくりなど、総合学習指導の協力 ・「新冠百話」を活かし、ふるさとの教育資源を現職教員研修において説明、小学 4 年生を対象としたアイヌ文化の学習及び「新冠百話絵本」の配布 ・郷土資料館 4 0 周年を記念した関係資料特別展示の実施		
今 後 の 課 題 と 必 要 な 取 組 み	・学校との連携支援 ・町民の興味関心を惹く郷土文化の伝承活動		
内 部 評 価	A	外部評価	A
内部評価の内容	・学校と資料館が連携した学習提供 6 回 ・新冠百話絵本の配布 新冠小学校 3 7 冊 朝日小学校 6 冊 ・現職教員研修【新冠百話に見るふるさと新冠】 参加者 7 名 ・パネル展【新冠のアイヌ文化を知ろう】 郷土資料館 (8 / 5 ～ 9 / 5) レ・コード館 (9 / 9 ～ 2 7) ・特別展・移動展 【資料館と関わった人たち～私たちが伝えたいふるさとの “かたち”】 郷土資料館 (1 1 / 1 8 ～ 2 6) レ・コード館 (1 / 9 ～ 2 9)		
外部評価の内容	・コロナ禍においても学校との連携が図られ、推進目標が十分達成されている。		

(4)図書プラザ事業の充実

推 進 目 標 ①	○利用者ニーズの把握と利便性を重視した運営 ○アニマル号の運行形態と利用拡大への工夫		
目 標 達 成 に 向 け た 計 画	・ 関係図書館との連携によるレファレンスの充実、夜間の開設 ・ 定期的なアニマル号の運行と図書プラザ利用困難者に対する支援		
評 価 の 視 点	・ 毎週水曜日の夜間開設のほか、利用者の要求に対応したサービスの提供 （リクエスト、貸出予約、レファレンスのための他館からの資料調達） ・ 認定こども園、小中学校及び社会福祉施設への移動図書館車の定期 運行、高齢者や乳幼児を抱える個人宅の訪問		
今 後 の 課 題 と 必 要 な 取 組 み	・ 図書管理システムの更新 ・ インターネットでの蔵書検索や予約など利用サービスの周知 ・ 移動図書館車の更新の検討、利用拡大への取組		
内 部 評 価	B	外部評価	B
内部評価の内容	・ 利便性の向上 リクエスト処理：１７４件 他館との連携（相互貸借）：８４件 ・ アニマル号の運行 町内施設等運行先：７カ所、個人宅訪問：２カ所 ・ 感染拡大防止対策のため臨時休館、アニマル号運休、開館後も滞在時 間の制限や利用サービスを制限の影響から来館利用が大幅に減少し た。 ・ コロナ禍により計画していた事業の一部は実施が出来なかった。 ・ 臨時休館中に実施した町民限定貸出サービスの周知により、インタ ーネットでの蔵書検索、予約が普及し利用者ニーズに対応した。		
外部評価の内容	・ コロナ禍で一部事業の実施が出来なかったが、インターネットを活用 するなど、新たな取り組みに着手しサービス向上が図られている。		

推 進 目 標 ②	○子どもの読書習慣定着に向けた取組 ○学校図書室との連携		
目 標 達 成 に 向 け た 計 画	・ ブックスタート・セカンドブック事業の実施、読書記録手帳の活用 ・ 学校図書室への支援		
評 価 の 視 点	・ ブックスタート事業等を通じた乳幼児及び保護者への読書推進、・ 読 書記録手帳を活用した子どもの読書意欲向上 ・ 小中学校への長期大量図書貸出（朝読・読書習慣定着への支援） ・ 学校図書室への環境整備、図書購入支援 ・ 認定こども園でのおはなし会、小中学校への授業支援 ・ 新冠町第３次子どもの読書活動推進計画の策定		
今 後 の 課 題 と 必 要 な 取 組 み	・ 学校・地域・家庭に対する読書活動を展開するための支援の継続、新 新冠町第３次子どもの読書活動推進計画に基づく子どもの読書環境の 整備		
内 部 評 価	A	外部評価	A
内部評価の内容	・ 読書習慣定着に繋がる取組 ブックスタート事業 実施：２５人 セカンドブック事業 実施：４９人 ・ 学校等への読書環境支援 新冠小：年間約２，４００冊 朝日小：年間約１，８００冊 新冠中：年間約１，２００冊 ・ 図書担当教諭との連携、授業支援、購入予定図書の選書サポート ・ 認定こども園出張おはなし会（※感染症対策により中止） ・ 読書記録手帳の普及 読書記録の使い方説明のため学校訪問（朝日小・冠小１年生） 読書記録手帳配付：年間約６０冊 読書記録１００冊達成者（殿堂入り小学生２名）		
外部評価の内容	・ 評価の視点、内部評価に記載のとおり目標達成に向けた計画が達成さ れている。		

(5) 青少年教育の充実

推 進 目 標	○ふるさとを感じる体験型事業の推進 ○児童館機能を活用したクラブ・教室事業の充実 ○青年団体の組織強化と事業継続に対する支援		
目 標 達 成 に 向 け た 計 画	・新冠の自然や資源を活用した「自然体験教室」の開催 ・学校・地域との連携による児童の安全安心な活動場所の提供及び体験活動等の提供 ・新冠町青年団体協議会及び新冠町青年団体連絡会議に対する支援		
評 価 の 視 点	・地域団体との連携・工夫を図り事業を実施 ・放課後子ども教室における体験事業の充実、学習支援を図る子ども未来塾の充実 ・事業運営推進に向けた団体に対する補助金交付と育成指導		
今 後 の 課 題 と 必 要 な 取 組 み	・地域団体との連携・工夫を図り事業を実施 ・放課後子ども教室における体験事業の充実、学習支援を図る子ども未来塾の充実 ・事業運営推進に向けた団体に対する補助金交付と育成指導		
内 部 評 価	B	外部評価	B
内部評価の内容	・計画した自然体験教室の実施、新規事業の実施 コロナ禍により自然体験教室はすべて中止とした。代替事業も検討したが、実現には至らなかった ・安全安心な活動場所の提供、事業の工夫・充実 コロナ禍ではあったが、感染対策に努め事業運営が図れた ・コロナ禍における感染対策を講じた事業の支援 ふるさと盆踊り中止 ろうそく出せ・イルミネーションフェスタの実施 成人式の実施 リモート配信		
外部評価の内容	・コロナ禍により中止とした事業も多くあったが、感染防止対策を講じた上での事業実施が図られている。		

(6) 成人教育の充実

推 進 目 標	○ライフステージに応じた学習機会の充実 ○学校と連携した家庭教育事業への支援 ○保健福祉と連携した高齢者、女性への学習機会の創設		
目 標 達 成 に 向 け た 計 画	・多様な学習機会の提供 ・家庭教育に関する学習機会の提供 ・いきいき大学及び女性コミュニティ活動との連携協力		
評 価 の 視 点	・プラスワンセミナー及び生涯学習講座の開催 ・町民の自主学習に対応した人材バンク派遣事業の実施 ・いきいき大学との連携事業の実施及び女性コミュニティ活動における連携		
今 後 の 課 題 と 必 要 な 取 組 み	・町民への様々な学習機会の提供と講師及び内容の選定 ・町内講師の発掘や活用及び解りやすい事業周知 ・新生活スタイルを取り入れた事業展開（リモートの活用等） ・保健福祉課との連携した取組の推進（健康増進、介護予防）		
内 部 評 価	B	外部評価	B
内部評価の内容	・コロナ禍によりプラスワンセミナー、家庭教育事業を中止 ・生涯学習講座はリモートにより実施 6回 ・いきいき大学における事業の合同開催 6事業実施のうち1事業を保健福祉課と合同開催 ・女性コミュニティ会議事業を通じた情報の提供・健康増進事業の検討		
外部評価の内容	・コロナ禍により中止とした事業も多くあったが、感染防止対策を講じた上での事業実施が図られている。		

令和２年度
新冠町教育委員会
教育行政執行方針
重点施策概要版

教育基本理念

「生きる力を育み ふるさと愛を深める 新冠の教育」
～明日も行きたい学校・働きたい学校・帰るのが楽しみな家庭・仲間と共に心はずむ地域～

『知・徳・体』の調和と、たくましく生きる力の育成

基本目標

意欲的な学びと、豊かな心を育む文化の町 新冠

最重点目標：義務教育課程適正規模・適正配置等基本計画の策定
新学習指導要領の完全実施と移行準備、幼小中一貫教育の推進

最重点目標：町民憲章とReの精神を意識した社会教育の推進

① 確かな学力の向上

- ☐ 接続・一貫を意識した教育課程の推進（目指す資質能力の明確化・外国語授業の円滑化・ＡＬＴの活用）
- ☐ アクティブ・ラーニングを意識した学習・指導方法の改善（単元を見通す指導計画・授業のタイムマネジメント・プログラミング教育の推進・ＩＣＴ機器の積極活用）
- ☐ 教育活動の「質」の向上（カリキュラムマネジメントによる検証と授業改善）
- ☐ 年間を通じた学力向上策の推進（家庭学習の習慣化・指導主事訪問と授業参観の強化・学習規律の徹底）

② 豊かな心と健やかな体の育成

- ☐ 道徳教育の推進（考え議論する授業の実践・評価の工夫・外部人材の活用・校内研修の推進）
- ☐ 読書活動の推進（校内一斉朝読書の推進・学校図書館の活用・図書プラザの活用）
- ☐ 生徒指導と教育相談の充実（いじめ・不登校解消に向けた組織的対応・ネットモラルの指導・相談体制の強化）
- ☐ 体力向上策の推進（体力運動能力調査分析と対策検討・目的共有による一校一実践）
- ☐ 生活習慣の定着（家庭との連携・社会教育事業との連携）
- ☐ 健康安全教育の充実（食育指導の工夫・危機管理体制と事故防止策強化・地域と連携した防災教育推進）

③ 特色ある教育活動の推進

- ☐ 学校間における合同学習・交流事業の推進（乗り入れ授業・事業交流など）
- ☐ 地域資源と社会教育事業を活用した教育活動の推進（学校運営協議会の定着化・外部人材活用）
- ☐ 学校の教育活動を中心とした主権者教育（町長との町づくり懇談会・模擬投票）
- ☐ 新聞を活用した教育活動の推進（中学生を対象とした活用実践）
- ☐ 郷土資料館と連携したふるさと教育の推進（新冠百話の活用とアイヌ文化学習）
- ☐ 発達段階に応じたキャリア教育の推進（職場体験・地域の人材活用）

④ 特別支援教育の充実

- ☐ 個別の指導計画・教育支援計画に基づく切れ目のない支援体制の確立
- ☐ 障がい種に応じた適切な教育課程の編成・実施
- ☐ 関係機関との情報共有による早期教育相談と支援の推進
- ☐ 就学・進学時の学校間引き継ぎの円滑化と指導・支援体制の充実
- ☐ 指導・支援の充実を図る教職員研修の充実

⑤ 信頼される学校づくりの推進

- ☐ 義務教育課程適正規模・適正配置等基本計画の策定
- ☐ 校長を中心とした校内組織の機能強化（経営ビジョンと具現化方策の明確化・検証サイクルによる学校改善・校務組織の機能強化・教職員の経営参画意識の高揚）
- ☐ 新任教職員の育成研修の推進（指導主事の授業参観による指導助言の強化）
- ☐ 学校運営協議会の活用（学校、地域の課題やビジョンの共有・協働体制の確立）
- ☐ 小中一貫教育の推進（経営ビジョンの共有と連携・合同研修会や研修・教研協との連携・積極的な校種間交流）
- ☐ 教職員の資質向上と服務規律の保持（各種研修参加の奨励、公開研究会の奨励、研究指定校活用）

⑥ 教育環境の整備

- ☐ 奨学金制度の拡充（貸付上限額の増額・帰町奨学生への優遇拡大等）
- ☐ 義務教育施設の長寿命化計画の策定（施設改修計画）
- ☐ 朝日小学校の教育体制の確保（複式一部解消にむけた町費負担教員の配置２名・複式化への配慮）
- ☐ 学習環境の整備・充実（施設老朽化対策・ＩＣＴ機器の整備）
- ☐ 高等学校への通学支援の推進（助成対象の拡充・農業高校通学バス運行にかかる経費負担の軽減）
- ☐ 教職員の働き方改革への対応（具体的対策の検討と実践・校務支援システム導入の具体化）

⑦ 認定こども園の教育・保育の推進

- ☐ 接続を意識した幼児教育の充実（スタートカリキュラムの編成と実施・小学校との連携・要支援児童の把握と早期対応）
- ☐ 保育教諭研修の充実（計画的な研修派遣・園内外研修・関係機関との連携）
- ☐ 適切な保育教諭の配置と教育保育環境の整備（入園希望者増加への対応・施設環境の整備）
- ☐ 子育て支援事業の充実（相談体制の充実・保健福祉部局や学校、発達支援センターとの連携）
- ☐ 児童館事業との連携（職員間交流と専門知識の提供・事業連携）

① レ・コード館を中心とした社会教育の推進

- ☐ 第８次社会教育中期計画の策定
- ☐ 文化協会や関連団体との連携による文化芸術活動の支援
- ☐ 音楽を活用した社会教育事業の推進（楽器体験事業・昭和音大との交流）
- ☐ 収集レコードの活用と関係機関と連携した館運営の推進（類似施設との連携・施設の特微化検討・各種レコードコンサートの工夫）
- ☐ 社会教育施設の長寿命化計画の策定（改修計画）
- ☐ 小中学校の教育活動への積極的な係わり（ＣＳを意識した地域と学校のつなぎ役）

② 社会体育の充実

- ☐ 体育協会と連携したスポーツ振興と団体支援（指導体制の確保・競技力向上への支援・各種スポーツ教室の開催）
- ☐ スポーツ推進委員と連携した軽スポーツの普及活動（軽スポーツ教室の開催）
- ☐ 健康を視点とした運動教室（保健福祉事業との連携・親子運動教室）
- ☐ 子どもの体力向上に資する取り組み強化（少年団本部との連携・学校への支援）

③ 郷土資料館事業の充実

- ☐ 学校との連携による学習機会の提供（授業への協力・パネル展の学校開催）
- ☐ 新冠百話を活用したふるさと教育の推進
- ☐ アイヌ文化学習会の開催（ウボボイ見学会・アイヌ語地名学習会）
- ☐ 郷土文化研究会や関係者と連携した館運営の推進（資料館活動４０年ふるさと再発見講座）

④ 図書プラザ事業の充実

- ☐ 利用者ニーズの把握と利便性を重視した運営（他館連携によるレファレンスの充実・夜間開館）
- ☐ 子どもの読書習慣定着に向けた取り組み（第３次子どもの読書活動推進計画策定・ブックスタート事業）
- ☐ 学校図書室との連携（学校への図書貸出・蔵書管理・学習支援）
- ☐ アニマル号の運行形態と利用拡大への工夫

⑤ 青少年教育の充実

- ☐ ふるさとを感じる体験型事業の推進（自然体験：田植え、稲刈り、酪農、雪遊びなど）
- ☐ 児童館機能を活用したクラブ・教室事業の充実（こども未来塾）
- ☐ 青年団体への支援を通じた組織強化と事業継続

⑥ 成人教育の充実

- ☐ ライフステージに応じた学習機会の充実（プラスワンセミナー・生涯学習講座の充実）
- ☐ 学校と連携した家庭教育事業への支援
- ☐ 保健福祉と連携した高齢者、女性への学習機会の創設（健康意識）